



# 愛知県社会保険労務士会 知多支部だより

2025年(令和7年)第84号



無料相談会 イオンモール常滑会場



無料相談会 パワードーム半田会場



## 新年のご挨拶

半田労働基準監督署長

石川 真一

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎えるに当たり、愛知県社会保険労務士会知多支部の会員の皆様に謹んでお祝い申し上げますとともに、日頃より旧年中、労働基準行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、物価高を上回る所得の増加等に向けて、政府として賃上げを強く勧めているところですが、その一環として、令和6年10月1日より愛知県最低賃金が50円引き上げられて時間額1,077円となりました。2年連続して過去最高の引き上げ額となった訳ですが、この賃金引上げに関しては、令和6年6月21日の閣議決定で2030年代半ばまでに全国加重平均1,500円を目指すと言われていたところ、石破首相が自民党総裁選で2020年代のうちに全国加重平均を1,500円にする、と上方修正しました。

いずれにしろ、今後も益々最低賃金額は上昇するものと思われ、中小・小規模事業場の方々は労務費の原資確保に相当苦慮されることが想定されます。当署としては、「業務改善助成金」や「キャリアアップ助成金」の他、中小企業庁が所管する「IT導入補助金」、公正取引委員会が示している「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」等政府が賃上げの環境整備のために講じている各種の支援施策について、パンフレット等を活用して改正最低賃金額と共に周知し、活用促進等を図っていき、中小・小規模事業場の方々の賃金引上げのための原資の確保に繋げることができるよう積極的に働きかけていきたいと思っております。

また、当署管内における労働災害の発生状況ですが、令和6年10月末時点で、死亡災害は3件（前年同期比+1件）、休業4日以上死傷災害は538件（前年同期比-4件）で、前年度とほぼ横ばいの状態となっております。

今年度は「第14次労働災害防止推進計画（令和5年度から令和9年度までの5か年）」の2年目となりますが、当計画では「死亡者数2名を下回り、さらなる減少を目指す。」と目標に掲げております。当年は残念ながら達成できませんでした。令和7年は目標を達成すべく、労働災害防止に向けて積極的に取り組んでまいります。

以上、課題が山積みですが、当署職員一同で迅速かつ適切に業務を進めていく所存ですので、よろしく願い申し上げますとともに、支部会員の皆様方にも豊富な知識や経験に基づき顧問先等関係事業場への一層のご指導をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴支部並びに会員の皆様様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

半田公共職業安定所長

小笠原 潤

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃からハローワーク半田の業務推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年の労働市場を振り返りますと、長らく猛威を振るった新型コロナウイルスが収束を迎え、経済社会活動が平常を取り戻す中で、企業における求人活動と、より良い条件を求める求職者の転職活動が共に再び活性化しはじめた年でした。女性や高齢者の労働参加が着実に進展しているなど明るい兆しが見える反面、少子高齢化が労働力供給に及ぼす影響はやはり大きく、あらゆる産業において、“人手不足感”が高まっている状況が伺えます。知多半島地域におきましても、人口が全般的に減少傾向にあり、その厳しさをひしひしと感ずるところでございます。

こうした状況に少しでもお役に立てるように、ハローワーク半田では、新たに「人材マッチング企画部門」を立ち上げました。この部署では「運輸・建設」業界等をはじめとするいわゆる人手不足分野に対し、専門の担当者による事業主のニーズや求職者個々の状況に応じた一層きめ細やかな就職・充足支援等を積極的に行っております。なかでも、半田所管内において求人が全体の3割以上を占める「看護・介護」といった福祉系分野の充足支援には特に注力しており、就職面接会や企業セミナー、オンラインを活用した企業説明会等を多数実施しましたが、令和7年においては、引き続きこれら分野の支援を継続すると共に、その他あらゆる分野の事業主の皆様のニーズに応じ、管内の各自治体や業界団体との連携も深めながら、皆様の人材確保にご協力できるように努めてまいります。

新しい年を迎え、私ども職員一同、「懇切・公正・迅速」をモットーに、地域や来所する皆様の特性やニーズ、課題を的確に把握の上、これらに対応できるような課題解決支援サービスの提供を行うよう、取り組んでまいります。

愛知県社会保険労務士会知多支部会員の皆様には、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、貴支部の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





## 新年のご挨拶

日本年金機構 半田年金事務所長  
五 明 芳 弘

新年あけましておめでとうございます。

昨年10月1日をもちまして半田年金事務所長に着任しました。

国民の皆様の安心のよりどころである公的年金の事業運営という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

社会保険労務士の皆様には、日頃から、年金事業をはじめ社会保険事業の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

特に、愛知県社会保険労務士会知多支部会員の皆様には、当年金事務所における年金相談窓口業務の運営にご協力をいただいております、重ねてお礼申し上げます。

わが国の社会保障は、自らの生活は自ら働いて支えること（自助）を基本としながら、社会連帯の精神に基づき、疾病、高齢、介護等のリスクについては共同してリスクに備える仕組みである共助（自助の共同化＝社会保険）が自助を支えることを中核としています。

共助＝社会保険方式は、国民の参加意識、権利意識を確保し、保険料を支払った人に見返りとして給付を行うことから、権利性が強く、また、給付と負担の関係が明確であることから、給付水準の確保や負担についての合意が得られやすいのですが、その一方で、このメリットを享受するためには、年金制度を実務にする必要があります。

日本年金機構は、加入勧奨し、保険料を賦課徴収し、それを長期間にわたって記録し、正確に給付に反映しなければなりません。わが国の年金制度がここまで大きく育ったのは、こうした実務の積み重ねがあればこそだと思います。

年金制度の実務を担うことは、まさに国民の人生を見守っているとも言えますし、国民の自助の共同化を実現しているとも言えると思います。

社会全体がコロナ禍を克服し、新しい時代を切り拓こうと着実に歩みを進める中、国民皆年金の根幹を担い、高齢化社会における社会の安定・安心を実現するため、年金実務を担っていることに責任をもって取り組んで行く所存です。

引き続き、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、愛知県社会保険労務士会知多支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

支部長

田中晴英

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、知多支部会員の皆様には、支部活動に対してのご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、関係団体の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、深く感謝を申し上げます。

今年度は4月の通常支部会での立食形式の懇親パーティーの開催によって、コロナ前の事業活動の風景に戻ったことをしみじみと実感し、労働保険年度更新の協力業務、支部研修会、支部親睦研修旅行、無料相談会を実施してまいりました。特に静岡への支部研修親睦旅行は、いまだかつてない参加希望者の数で、応募期限を大幅に前倒し、応募締め切りの案内を送るほどの大盛況でした。支部研修親睦旅行を企画立案運営いただいた支部の総務部の方々には感謝申し上げます。一方で、甚だ残念ではありますが、新年度4月に入ってから知多支部へ入会される方が一人もおらず、このまま3月まで1年間入会ゼロであった場合の不安を感じると共に、今回の支部だよりにより新入会員の紹介がないことがとても寂しく残念に思います。

さて、現在55歳の私が個人的に励んでいることは、NISA制度をつかっての資産形成です。30歳で開業した私自身の厚生年金は微々たるもので、ほぼほぼ国民年金しかない状況です。コロナ禍がはじまった頃、NISA制度と投資信託という株のパッケージされた商品と出会い、生まれて初めて証券口座を作ってみました。最初は月々3,000円からスタートし、徐々に金額を増やしていきました。当然に下がることもあり、今年の8月5日の大暴落により心が折れかけたこともありましたが、保持し続けることがとても重要だとつくづく感じています。やはり、資産運用の王道は、長期・分散・継続を組み合わせて活用することが有効であり、あくまで自己責任で余剰資金を使っただけの運用が基本だと考えています。

今回の支部だよりから、創刊からお世話になっていました「いぬづか印刷様」の廃業にともない、あらたに常滑市にある「株式会社平和堂様」へ新たに依頼することとなりました。諸先輩方から引き継いだ知多支部だよりの伝統を継承しつつより良い新しい支部だよりの作成に励んでまいります。

支部運営組織の強化に邁進し、社会から求められる時代の責任を果たすべく支部活動を実施してまいりますので、本年も引き続き、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 知多支部秋の親睦研修旅行

11月17日（日）、家族参加を含めて34名、『心打たれる絶景♪徳川家康公ゆかりの地（久能山東照宮）眼下に広がる「日本平ロープウェイ」絶賛！オモウマイ店での昼食』親睦バス旅行が開催されました。

開催前は、天候が不安でしたが、バス移動時に、車内から頂上を少し雪化粧した富士山を一望できるほどの晴天に恵まれました。

まず、エスパルスドリームプラザです。ワサビを使った食品や地元の海産物、お茶などの静岡名産が並ぶお店で、土産物選び、そして、あの有名なキャラクターを題材とした「ちびまる子ちゃんランド」を観覧。特にお子様連れの方は満足されたのではないのでしょうか。

その後、昼食会場のオモウマイ店で有名ななすび総本店に移動。巨大なエビフライが宙吊りの状態で登場には皆さん一斉に写真に収められ、豪華な海の幸に舌鼓し、皆さん大変盛り上がり、親睦を深められておりました。

次に、日本平ロープウェイにのって久能山東照宮へ、日本平ロープウェイでは、晴天ということもあり、駿河湾を見渡すことができ、また、久能山東照宮の歴史的な建造物等を拝観することができてとても感動いたしました。

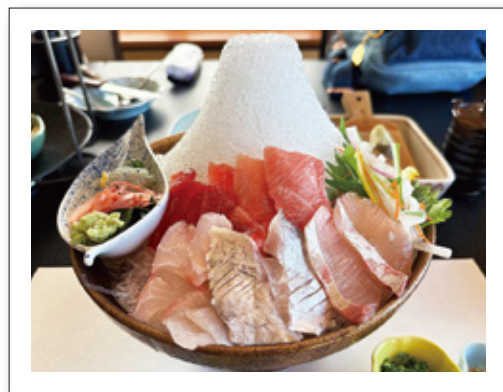
また、幹事等方々のご尽力もあり、バスの中でも大いに盛り上がり、初めて参加された方含めて親睦を深めることができたのではないかと思います。 大庭 尚 志



祝・開催 愛知県社会保険労務士会 知多支部 親睦研修旅行

於 エスパルスドリームプラザ 2024年11月17日





## 無料相談会

イオンモール常滑会場 古川実枝

12月8日(日)にイオンモール常滑で行われた無料相談会に相談員として参加させて頂きました。私は初めての参加だったのですが、例年の様子を知多支部だよりで拝見していたので、当日相談者の方は自然と集まってくるものなのだとばかり思っていました。しかし実際は、いざ無料相談会開始!となっても、10分たっても20分たっても相談される方がみえない…ティッシュすら受け取って貰えないという状況に愕然とし、毎年の諸先生方の努力を垣間見たのでした。(余談ですが、これから街角でティッシュを配られた際には進んで受け取ろうと思いました。)

その後は、皆で協力して声がけた成果も出て相談者の方も着実に増えていきましたが、その中でも、何度も行ったり来たりして、その後労働相談をされた方がいて、とても印象的でした。やはり働く中で疑問に思うことや迷うことがあっても、それをどこにどう相談して良いのか分からないという方が世の中の大半であり、それこそが社会保険労務士をアピールし、無料相談会を開催する意義だなと感じました。また、社会保険の仕組みや普段何気なく使っている専門用語など、できるだけ分かりやすい言葉で相手に伝えることが大切だと改めて気づかされた一日となりました。「ありがとう」という言葉は、何度言われても嬉しいものですね。

この度は成瀬先生やリーダーの和田先生はじめ、諸先生方にはお世話になりました。ありがとうございました。とても有意義な経験をさせて頂き、感謝申し上げます。





## 無料相談会

パワードーム半田会場 太田 壽夫

12月8日、愛知県社会保険労務士会知多支部主催の無料相談会が、パワードーム半田とイオン常滑で開催されました。

私は、パワードーム半田の担当で、知多支部の社会保険労務士5名と本会の成年後見相談担当の先生1名の計6名にて行いました。

相談の内容としては、年金関係5件、労働保険関係1件、健康保険関係1件、労務関係2件の計9件の相談がありました。

例年通り、年金関係の相談が多かったのですが、過去にはあまりなかった障害年金の相談が2件あり、内容も一般的でなく相当具体的な内容でした。又、労務関係についても複雑な内容でした。

会場の入り口でポケットティッシュを配り、社会保険労務士が無料相談をしていますと話すと、社会保険労務士さんねとの反応があり、一般の方に社会保険労務士の名称が浸透してきているなど感じました。



令和6年12月8日実施の社会保険労務士の日無料相談会では、以下の2会場で11名の方々に協力していただきました。

●半田会場（パワードーム半田）

稲田 昇子 梅森 真二 太田 壽夫 岡戸 久敏 立野 勇

●常滑会場（イオンモール常滑）

磯村 信悟 浦崎 圭子 棚橋 美保 西方 大作 古川 実枝 和田 英子

（敬称略、五十音順）

## 支部研修会を開催

### 第1回

日 時：令和6年6月22日(土) 13:00～16:45

場 所：アイプラザ半田 第1会議室

研修内容：「労働保険年度更新申告書の例題、協力者としての対応」

進行役：田中晴英 支部長

### 第2回

日 時：令和6年9月25日(水) 14:30～17:00

場 所：半田商工会議所 大会議室

研修内容：「解雇・非違行為・うつ病対策 危機管理対策等の実務」

講 師：西山・下出法律事務所 弁護士 西山一博氏



第2回支部研修会

## 「出前授業」事業講師の推薦について

●来年度の講師として、以下6名の方々を支部推薦しました。

浦崎圭子      立野 勇      成瀬英幸  
西方大作      福井達也      古川実枝

(敬称略、五十音順)

## 「がん患者就労支援事業」事業相談員と候補者の推薦について

●来年度の相談員として、以下6名の方々を支部推薦しました。

浅野奈緒子      稲田昇子      佐藤由美恵  
棚橋美保      古川実枝      和田英子

(敬称略、五十音順)

**労働保険年度更新業務を体験して** 川崎 徹

こんにちは、令和6年4月1日より開業しました川崎徹と申します。私は、7月8日(月)の知多支部年度更新協力に参加して、非常に有意義な経験を得ることができました。この活動では、事業主等の年度更新手続きや労働関係の法令遵守を支援しました。実際の現場で活動することで、労働法や社会保険制度に関する理論を実践に結び付けることができました。この経験を通じて、様々な問題に対応するための柔軟な思考力やコミュニケーション能力を高めることができました。また、実際の現場での対応経験が、これからの仕事においても大いに役立つことを実感しました。多くの事業主が、年度更新の手続きをするためのサポートを必要としている現状を目のあたりにしました。その中で、私たち社労士の存在が社会に重要な役割をはたしていることを再認識し、更なる成長を志す意欲が湧いてきました。今後もさらなる学びと成長を追求し、社会に貢献するため精進をしていきたいと考えています。今回の年度更新協力は、私にとって貴重な経験であり、大変充実した時間でした。最後になりますが、当日支援していただいた水野先生、佐藤先生、田中支部長に対し、改めて心からの感謝の気持ちを伝えさせていただきます。ありがとうございました。

.....

**今号より印刷会社が代わります** 浦崎 圭子

前号まで支部だよりの印刷等をお願いしていた印刷会社さんの廃業に伴い、今号より常滑市にある株式会社平和堂さんに印刷等をしていただくことになりました。

7月初旬、株式会社平和堂の渡邊代表にお会いし、支部だよりの概要や紙面作りへの想いをお話ししたところ、快く引き受けてくださり、後任の印刷会社決定に至りました。

9月初旬、編集スケジュールやレイアウトのお話をしに伺うと、渡邊社長の方から、今まで作成を担当した他団体の広報誌を例に様々なパターンを提示してくださったり、社長直筆のレイアウト案を見せてくれたりしました。また、印刷物の製本についてや社長の印刷物への熱い思い、くすつとしてしまう職業病についてもお話ししてくださり、今後一緒によりよい支部だよりづくりができると実感し、とても有意義な打合せをすることができました。

これから末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。





## 知多支部会員の皆様へ

### ◆会務へのご意見の公募について

愛知県社会保険労務士会知多支部では、更なる会務運営に活かすため、会員の皆様から広くご意見を受け付けています。お気づきのことがございましたら、支部長又は副支部長までお気軽にお申し出ください。

### ◆個人ブログ・SNS等への写真等の掲載についての注意喚起

社会貢献事業等の活動に関する写真やアンケート等を許可なく個人ブログやSNS等に掲載することはお控えください。掲載する場合は関連する方の許可が必要です。掲載に迷う場合は、必ず確認をお願いします。

### 連絡先

支部長 田中 晴英（田中労務管理事務所）

☎0569-32-2639 ☎0569-32-2640  
✉tanakaroumu@gmail.com

副支部長 石川 剛（石川社会保険労務士事務所）

☎0569-74-3233 ☎0569-74-3288  
✉ishikawa@zaa.att.ne.jp

副支部長 都築 伸佳（都築社労士事務所）

☎0569-77-2816 ☎0569-77-2816  
✉tsuzuki-syaroushi@yahoo.co.jp

副支部長 成瀬 英幸（ナルセ社会保険労務士事務所）

☎0569-21-1632 ☎0569-21-1629  
✉master@naruse-sr.jp

## 編集後記

\*\*\*\*\*

「知多支部だより」を最後までお読みいただきありがとうございます。

編集にあたり、支部での行事に積極的に参加し、活動内容を自分の目で見、各行事や行政協力業務の魅力をお伝えできるよう努めてきました。掲載されている行事等に参加できなかった会員の皆様、次回は参加したいなど興味を持っていただけていたら嬉しい限りです。日頃の業務でお忙しい中、原稿協力をしてくださった先生方へも感謝の気持ちでいっぱいです。

総務部 浦崎 圭子  
佐藤由美恵

\*\*\*\*\*

令和7年1月1日 第84号

発行所 愛知県社会保険労務士会 知多支部

発行人 田中晴英

編集者 浦崎圭子 佐藤由美恵

印刷所 株式会社平和堂